

<令和6年度将棋同好会活動報告第一報>

令和6年3月6日

(1月29日)

○本日は橋本が仕事で欠席、参加者は出井、小黒の2名。

一局目は、出井の振り飛車に対し、小黒は序盤からスキのない指し回しで出井に反撃のチャンスを与えずそのまま押し切った。

二局目も同様に小黒が優位に進めたが、時間切れで次回に持ち越した。

○次回は2月26日

(2月26日)

○本日は橋本が体調不良のため欠席で1月度に続き参加者は出井、小黒の2名。

一局目は先月からの指し継ぎで、小黒が優位の状況から再開、やや差は縮まったが、最後は出井の粘り強い受けを突破し小黒が攻めきった。

二局目は、小黒が攻めを急ぎ過ぎ序盤の早い段階から大きな駒損となり、簡単に
出井の勝利となった。

○プロの将棋界では相変わらず藤井聡太9段が圧倒的強さでタイトルを独占している状況が続いている。小学校時代から藤井のライバルであった伊藤匠7段がようやく力を発揮し始め藤井のタイトル(棋王)に挑戦中だが5回戦の戦いで既に2連敗しており苦戦中。伊藤匠7段はプロ棋士の「格」を決める「順位戦(A級1位が名人への挑戦権が与えられる)」ではまだ5段階中下から2番目のC1級に所属しており来期からB2級に昇級が決定しているが、名人への挑戦にはまだまだ程遠い。カド出口役員の御子息の出口6段は今期は惜しくもC1級で5位に終わり昇級を逃した。最終局で負けたが、勝っても昇級となる3位以内には届かなかった。他の棋戦でも一時の勢いが感じられない。既に20代後半であり、本年あたりが正念場か。

次回は3月25日

以上